

平成29年度通常総会要項

特定非営利活動法人  
ルワンダの教育を考える会

# 教育は平和と発展の鍵



日時 平成30年5月27日（日曜日）

13時30分から

場所 福島市民活動サポートセンター

# 平成29年度通常総会要項

## NPO 法人ルワンダの教育を考える会

日時 平成30年5月27日(日曜日) 13時30分から  
場所 福島市民活動サポートセンター

### 第1号議案

#### 平成29年度 事業報告

#### 1. 特定非営利活動に係る事業 ※定款第5条(1)

##### (1) 内戦の体験に基づく命と平和、教育の大切さを伝える事業

※定款第5条(1)の①



#### 事業実績

会員の紹介、学校・公民館、各種団体等からの依頼を受けて、福島県をはじめ国内各地、計46ヶ所で講演を行い、マリルイズが自身の体験から平和の尊さ、命の大切さ、教育の重要性を訴えた。また会が取り組んでいるルワンダでの学園支援、健康診断、JICAプロジェクト、貧困地区の子ども支援などの諸活動を紹介し、支援を呼びかけた。

#### 課題

・理事長の講演活動は当会の活動紹介、支援者拡大にもつながる重要な活動である。今年度はルワンダの活動日数が増えたことから前年度(55回)より回数が少なくなった。ルワンダの活動とのバランスを考えながら、講演の拡大に努める。

#### (2) 異文化理解のためのイベント事業 ※定款第5条(1)の②

##### ア. Rwandaful Summer2017 in ふくしま開催(2017年7月17日福島市)

#### 事業実績

1部で、ケニアに定住しナイロビのスラムで孤児、ストリートチルドレンの支援活動に取り組む早川千晶さんを迎え「アフリカの子どもの教育・未来について」と題してマリルイズとトークセッションを行った。2部では大西匡哉さん〈アフリカドラマ〉と地元福島のジャンベ愛好家によるアフリカの音楽で会場が盛り上がり、来場者の皆さんがステージ上でエネルギッシュな音楽と踊りを楽しんだ。



来賓に福島市長、駐日ルワンダ大使、JICA 二本松所長を迎え、県内外から約150名の方々が参加した。また会場ロビーでは、ルワンダコーヒー、紅茶のほかアフリカでしか出会えない小物、雑貨も販売され好評であった。高校生、大学生のボランティアスタッフ30名が受付、販売、駐車場係としてイベントを支えてくれた。

#### 課題

・地元高校生大学生ボランティアがスタッフとしてイベントをサポートしてくれた。今後も若い世代と連携しながら活動することが重要である。また友好団体の出店ブースを設置するなど、他団体との交流を深めていきたい。

## イ. 「ルワンダ写真展 IN ふくしま」を開催

### 事業実績

日時：2018年1月4日（木）～8日（月）（1/7 休み）

場所：福島市チェンバおおまち 1F



ウムチョムイーザ学園の運動会や先生たちの校内研修、ルワンダの貧困地区ギチュンビ市ミヨベの活動、国内での会の活動を紹介します。今回は写真の説明をわかりやすく改善し、レイアウトも工夫した結果大変好評であった。また会員支援者の協力で、岩沼市（2月）、長崎市（3月）でも写真展を開催することができた。

期間中、1月6日（土）佐々木暁さん（JICA 青年海外協力隊員 OG）をゲストに迎えて帰国報告会を行った。佐々木さんは、2年間にわたりウムチョムイーザ学園幼稚園で現地の子ども達と過ごした数々のエピソードを披露していただいた。

### 課題

- ・講演会と写真展を組み合わせた企画を主催者へ提案する。
- ・写真パネルの貸し出しを行い、他の地域でも写真展開催を行う。

## （3）ルワンダの教育支援事業 ※定款第5条(1)の③

2016年当会の事務所がルワンダ政府から NGO の承認を受けたことで、これまでの学園支援からその周辺地域であるキミロンコ地区の学校、貧困地区（ギチュンビ市ミヨベ）の支援事業も行うこととなり活動地域が広がった。

マリールイズは、ルワンダに長期滞在し関係団体と協議しながら以下の事業をすすめてきた。

## ア. ウムチョムイーザ学園支援

### 事業実績

昨年10月、ルワンダで初めての運動会を開催した。学園を訪問した岡本行夫 JICA 理事長特別顧問と NTTdocomo 様の支援によりこれまでの手狭なグラウンドが整備され、広いグラウンドで子ども達が安心してスポーツを楽しめるようになったことから運動会が実現した。種目は幼稚園のお遊戯、宝探し、リレー、借り物競争と、初めて体験するゲームに子ども達は精一杯楽しんだ様子であった。

実施にあたり、準備期間が短いなか JICA 関係者、青年海外協力隊員や現地 NGO でインターンの大学生、会員などたくさんの在留邦人の協力と応援をいただいた。

昨年11月には6年生31名が卒業し中学校に進学した。学園の卒業生は2007年から数え今回11回目、これまで296名が巣立った。現在、学園では幼稚園と小学校をあわせて260名の生徒達が学んでいる（2018年1月現在）。また現地でボランティアとして活動している望月優子会員がクラウドファンディングで本を購入し定期的に読み聞かせを行い、子ども達に本の魅力を伝えながら図書室の有効な活用を図っている。

現在学園では JICA 受託事業「小学校教員の算数指導力向上プロジェクト」が2年目に入り、先生の指導力を向上させる研修が進行中である。



### 課題

学園設立時から財政支援を継続してきたが、学園の経営も自立すべき時期にきており、財政支援については運営母体の ADESOC と協議し、援助慣れの体質改善をすすめながら必要な範囲での支援を行っていく必要がある。学園の収支について報告を求め、必要な助言を行う。

## イ. 子どもの健康プログラム 2017（フェリシモ基金助成事業）

（事業期間 2017年1月～12月）

## 事業実績

このプロジェクトは認定 NPO 法人 AMDA(岡山県)の協力のもと、ルワンダの子ども達の健康増進を目的に取り組み 3 年目となった。

### ① 学園での健康診断事業

カリオペ医師、看護師による学園の健康診断を実施した(2017/2/6~8)。新入生 35 人に実施し、虫歯、耳や目、インフルエンザ等の病気発見が 8 人見付き保護者から感謝されている。また 9 月には、学園の幼稚園、転入生の 30 名、ギバガバガ小学校 1000 名、ミヨベの子ども達にも健康診断を行った。虫歯、皮膚病が多いことが問題となっており、歯磨き指導を行った。また、これまで実施した健康診断で病気が見つかった子ども達のその後の経過をヒアリングするアフターケアも行った。

### ② 集団健診のセミナー開催

1 回目の集団健診から取り組んできたカリオペ医師が AMDA (岡山県) 協力のもと、ルワンダの医学生、保護者、地域指導者を対象に現在行っている集団健診の進行状況、成果について発表し、健診の重要性を広く訴えた。



## 課題

- ・健康診断で病気が発見されながら未治療の子どもへ早期治療の対策。
- ・学園から家族、周辺学校への健康診断の重要性を広く PR する。

## ウ. ミヨベ (ギチュンビ) プロジェクト (ギチュンビ市ミヨベ町支援事業)

### 事業実績

2017 年 7 月より、ルワンダ北部に位置するギチュンビ市ミヨベ町での貧困地域の支援を始めた。支援に先立ち地区を管轄する行政(ギチュンビ市)と当会がミヨベ町の支援活動に関する MOU (覚え書き) を交わした (活動期間 5 年間)。

支援する地区 (24 世帯 104 名と地区内幼稚園の子ども達) は、自立できる産業がなく日雇いの労働で貧困層が多いこと、山間部のため給水が極めて悪く子ども達の衛生状態が悪いこと、食糧事情から栄養状態も悪いという問題を抱えている。これらの諸問題を解決するため行政と協力し、住民が収入を得て生活基盤ができること、子ども達の栄養状態改善と学べる環境をつくることを目指している。その第 1 歩として、栄養失調改善のため 1 日 1 食のおかゆと給食を幼稚園の子ども達へ提供している。また昨年 9 月には子ども達の健康診断を実施し栄養状態を確認した。2017 年 7 月から'18 年 3 月までの 9 カ月を当会から支援し、'18 年 4 月以降はクラウドファンディング(ReadyFor)のプロジェクト資金から支給する予定である。

訪問し始めてから 7 カ月が経過し、当初無表情だった子ども達が、訪れるたび間違いなく表情は明るくなり、活発な動きを見せてくれるようになってきた。訪問すると必ず『お会い出来て嬉しいです!』という歌を歌って踊って見せてくれるなど、大きな変化が生まれてきている。マリールイズのルワンダ滞在期間 ('18 年 2 月~4 月) に行政側とのすり合わせを密に行い、ReadyFor のプロジェクトを実施していくことで合意した。原則、月に 2 回キガリから現地スタッフ全員でミヨベを訪問し支援活動を行っている。



## 課題

- ・物資支援の面：冬物の衣料・靴が足りていない
- ・今後の行政側の積極的な協力体制が必要
- ・関係各所との密なコミュニケーション

## エ.ルワンダ・キミロンコ地区の教育支援事業

### 事業実績

行政（ガサボ郡役所）からの要請により貧困環境にあるキミロンコ地区内2 中学高校生徒（キミロンコⅠ、Ⅱ）の給食費の補助を行った（支援対象 144 人、金額 573,240 円）。校長先生から、きちんと給食を食べることで子ども達が落ち着いて勉強ができるようになり、成績アップしている子どもが増えているとの報告をいただいた。

### 課題

NGO としてキミロンコ地区の貧困家庭の子ども達の支援活動を今後も継続していく。

## （4）ルワンダの生活や文化を紹介すると共に、ルワンダの人々の自立支援に関する事業※定款第5条(1)の④

### 事業実績

3 1 会場でルワンダの生活や文化の紹介をし、合わせてコーヒー、紅茶、民芸品を販売してルワンダの人々の自立支援をサポートした。

（5）その他目的を達成するために必要な事業※定款第5条(1)の⑤

## ア. 東日本大震災復興支援事業・ルワンダカフェ

### 事業実績

昨年に引き続き、原則毎月第三水曜日に二本松市平石の仮設住宅を訪問しルワンダカフェを6 回開催した。震災直後から始まったルワンダカフェも6 年経過して避難者が仮設住宅から復興住宅や移転先へ移住する方が増え、今年度が最後となった。昨年6 月1 日には、これまで仮設住宅で生活を共にした多くの方にあつまっていたいただき、「ありがとうパーティ」を開催、早川千晶さん、大西匡哉さん、Noby さん達の音楽を楽しんだ。写真スライドショー、ビデオ放映では懐かしいシーンがよみがえり、会食ながら元気に再会することを誓いあった。



## 2. その他の事業 ※定款第5条(2)

### ア.参加型イベントに出展参加

### 事業実績

各種団体が主催するイベントに出展して、会員・支援者の方々と来場の皆様に会の活動とルワンダの紹介、ルワンダ民芸品やコーヒー、紅茶の販売を行った。販売収益は会の運営、ルワンダの人々の自立支援と教育支援にあてた。

### 主な参加イベント

- ・にこにこ子ども祭り（5/5）・手づくりマルシェ（5/20~21）
- ・オレンジカフェ（毎月第4 木曜日）桜の聖母大学祭(11/3) など 29 回

### 課題

今後も各種のイベントに参加しルワンダの紹介、民芸品販売を強化する。



## イ.小学校教員の算数指導力向上プロジェクト（JICA 草の根技術協力事業） （事業期間 2016 年 11 月~2019 年 2 月）

## 事業実績

ウムチョムイーザ学園の周辺地区である、キミロンコ地区の小学校の先生方の算数指導力を向上させる目的で JICA 草の根技術協力事業として取り組んでいる。

日本研修を受けた研修員を中心とした校内研修が昨年 2 月からスタートし月平均 3~4 回開催、3 月まで 35 回に達した。この間、日本から専門家が 3 回渡航し直接指導、その他ネットを活用した遠隔指導で研修をフォローした。昨年 11 月には、それまでの研修成果を発表する校内研究授業と検討会を開催、先生同士が授業の進め方についてディスカッションを行い、指導力を向上させる大切さを学んだ。これまでルワンダでは、国から地方、地域へと校内研修のシステムを徹底させるべく努力しているが、なかなか現場の学校では定着しないという問題を抱えており、ウムチョ学園の研修の取り組みはこうした問題を解決するモデルケースとして、地区の教育関係者から高い関心が寄せられ期待されている。



## 課題

これまでの研修は、カウンターパートが日本側の支援と指導で進めてきたが、今後は自力で継続することが求められている。そのための必要なサポートについて ADESOC と協議していく。

## 1. 事務局関連

### (1)事務局組織運営

#### 活動実績

##### ア. 理事会開催

年 3 回実施 2017 年 4 月 23 日、11 月 5 日、'18 年 1 月 14 日

##### イ. 事務局強化

JICA プロジェクトやミヨベプロジェクトの本格化で業務が、質量共に増えている。事務局長（常勤）を中心として、ボランティアスタッフとの連携で講演活動のスケジュール調整、イベント企画、各種イベント出店、その他の国内活動をすすめてきた。

##### ウ. 組織状況・・2018 年 3 月末現在 ( ) は前年度数

会員 67 名 (93 名) 賛助会員 107 名 (73 名)

自動引落定額寄附者 (500 円寄附者) 56 口 (48 口)

##### エ. 組織強化

各種イベントに参加し、当会のチラシを配布するなど活動の PR に努めている。また、3 月には新潟の学生グループのツアーに事務局長が同行し協力するなど若い世代との連携を深めている。また口座自動引落の定額寄附者も毎年確実に拡大している。賛助会員、定額寄附者の増加により認定 NPO 法人の申請に向けた条件が整いつつある。

##### オ. ルワンダ事務所の活動

事務所を学園内から移転し、斎藤照子理事のもとスタッフ 2 名が常駐、会員、ボランティア、インターンが協力し、ウムチョ学園の運動会や校内研修、ミヨベプロジェクト展開と、ルワンダでの NGO 活動の拠点となっている。



前年は2名の大学生インターンを受入れ事務所活動の大きな力となった。また日本からの訪問者が増えており、現地事務所はその受入れ業務が大きな役割になっている。毎週月曜日にはスタッフ会議を開催し、日本側とネットで情報を共有する体制ができつつある（毎回議事録を作成し日本側と共有）。

#### カ. 事務局スタッフ体制

国内 事務局長 永遠瑠ルーシー（常勤）  
事務局長 本田、阿部、山本会員、福島在住会員  
ルワンダ 事務局長 E.Imanishimwe（常勤） M.ESPERANCE(常勤)  
事務局長 齋藤照子理事 望月優子会員

#### 課題

- ・活動を広げるために若い世代にもよびかけボランティア会員としての組織化が必要。
- ・定期的にルワンダ事務所とスカイプ会議を開催し、双方が連携して事業を進める体制をつくる。
- ・事業進捗、経費支出についてルワンダ事務所とルール作りを徹底する。
- ・NGO事務所としての資金調達をルワンダでどのように行うかが課題である。

## (2) 広報事業

### 活動実績

ア.通信（ニュースレター）を年3回発行（2017年4月、7月、12月）

当会の国内活動、ルワンダの学園の様子、プロジェクト状況、ツアー参加者のレポート等を掲載し、会員、支援者に活動報告するとともに、イベントや講演会で配布し一般市民への広報活動に活用している。また通信のカラー化により「とても見やすくなった」との感想が寄せられている。

イ. 各種パンフ、チラシの活用

NPO 法人設立 15 周年の活動をまとめた記念誌を 1 昨年作成し、会の歩みを知っていたくため PR に活用している。

ウ. ホームページ、SNS の充実

国内活動、ウムチョムイーザ学園の様子、JICA プロジェクト、ギチュンビプロジェクトなどをホームページや SNS で情報発信している。

課題 : SNS による情報発信、公民館等への活動パンフ（通信など）配置要請

# 財 産 目 録

NPO法人 ルワンダの教育を考える会  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2018年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金 1,871

普通 預金 4,636,379

NGO口座送金 201

現金・預金 計 4,638,451

(売上債権)

未 収 金 3,540,172

売上債権 計 3,540,172

(棚卸資産)

棚卸 資産 547,719

棚卸資産 計 547,719

流動資産合計

8,726,342

### 【固定資産】

(無形固定資産)

電話加入権 76,440

無形固定資産 計 76,440

固定資産合計

76,440

資産の部 合計

8,802,782

## 《負債の部》

### 【流動負債】

流動負債 計

0

負債の部 合計

0

正味財産

8,802,782

# 活動計算書

[税込] (単位: 円)

NPO法人 ルワンダの教育を考える会

自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日

	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
<b>【経常収益】</b>			
<b>【受取会費】</b>			
正会員受取会費	405,000		405,000
賛助会員受取会費	740,000		740,000
<b>【受取寄付金】</b>			
受取寄付金	12,739,705		12,739,705
寄付金	(5,504,931)		(5,504,931)
500円寄付	(651,000)		(651,000)
奨学金	(112,360)		(112,360)
募金	(13,658)		(13,658)
指定寄付	(6,457,756)		(6,457,756)
<b>【受取助成金等】</b>			
受取助成金		86,657	86,657
<b>【事業収益】</b>			
講演会活動収益	1,878,529		1,878,529
JICA草の根技術協力		3,312,841	3,312,841
物品販売収益		1,784,157	1,784,157
コーヒー・紅茶		(1,718,157)	(1,718,157)
書籍 (空を見上げて)		(66,000)	(66,000)
イベント・コンサート収益		240,345	240,345
ルイズコンサルタント	1,125,000		1,125,000
<b>【その他収益】</b>			
受取 利息	8		8
経常収益 計	16,888,242	5,424,000	22,312,242
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
JICA草の根技術協力		3,740,096	3,740,096
旅費(航空運賃)		(742,720)	(742,720)
旅費(その他)		(32,616)	(32,616)
海外活動諸費		(1,642,611)	(1,642,611)
国内業務費		(104,800)	(104,800)
直接人件費		(1,153,000)	(1,153,000)
間接経費		(64,349)	(64,349)
NGO活動費	8,478,582		8,478,582
ウ校.教職員給与手当	(1,898,066)		(1,898,066)
ウ校.プロジェクト	(3,654,695)		(3,654,695)
キ地区.教育支援	(573,240)		(573,240)
ミヨベ支援活動	(1,979,815)		(1,979,815)
健康診断P	(372,766)		(372,766)
NGO経費	3,789,080		3,789,080
事務所運営費	(3,789,080)		(3,789,080)
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
売上 原価	0	766,062	766,062
出 展 料(事業)		55,402	55,402
国内支援事業 (事業)	102,816		102,816
ルワンダツアー	(102,816)		(102,816)
イベントコンサート経費		569,802	569,802
旅費交通費(事業)	918,542	290,066	1,208,608
通信運搬費(事業)	119,600	37,768	157,368
消耗品 費(事業)		72,567	72,567
その他経費計	1,140,958	1,791,667	2,932,625

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

NPO法人 ルワンダの教育を考える会

自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日

事業費 計	13,408,620	5,531,763	18,940,383
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	793,896	250,704	1,044,600
法定福利費	7,667	2,421	10,088
人件費計	801,563	253,125	1,054,688
(その他経費)			
印刷製本費	45,317	14,311	59,628
会 議 費	2,291	723	3,014
通信運搬費	226,467	71,516	297,983
消耗品 費	135,462	42,778	178,240
水道光熱費	73,761	23,293	97,054
地代 家賃	475,380	150,120	625,500
接待交際費	20,167	6,368	26,535
諸 会 費	20,000		20,000
租税 公課		72,000	72,000
雑 費	124,376	39,277	163,653
その他経費計	1,123,221	420,386	1,543,607
管理費 計	1,924,784	673,511	2,598,295
経常費用 計	15,333,404	6,205,274	21,538,678
当期経常増減額	1,554,838	△ 781,274	773,564
【経常外収益】			
経常外収益 計	0	0	0
【経常外費用】			
経常外費用 計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	1,554,838	△ 781,274	773,564
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	1,554,838	△ 781,274	773,564
前期繰越正味財産額			8,029,218
次期繰越正味財産額			8,802,782

## 監査報告書

平成30年5月24日

特定非営利活動法人 ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠 マリールイズ 殿

私は、特定非営利活動法人ルワンダの教育を考える会の平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び収支計算書）について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び平成29年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人ルワンダの教育を考える会の平成30年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

以上

監事

大和田紋子



**平成30年度 事業計画**

1. 特定非営利活動に係る事業 ※定款第5条(1)

(1) .内戦の体験に基づく命と平和、教育の大切さを伝える事業※定款第5条(1)の①

全国の学校・公民館・各種団体等からの依頼を受けて、理事長が内戦の体験に基づく命と平和、教育の大切さを伝える講演活動を行う。今年はルワンダ滞在期間(2018年7月末~12月中旬)が長いので、現地活動とバランスを考慮しながら進めていくこととする。

(2) .異文化理解のためのイベント事業※定款第5条(1)の②

ア.Rwandaful Summer2018 開催

7月16日(月・海の日) 福島県教育会館/福島市

- ルワンダ・24年後の今を考える(仮題) 永遠瑠マリルイズ
- JICA 草の根事業報告(算数プロジェクト) 専門家 廣瀬 桂子
- ルワンダツアー参加者によるトークセッション 参加メンバー
- ミニコンサート

-福島市国際交流協会助成金申請予定-

イ. ルワンダ写真展の開催:2019年1月上旬予定

会の活動とルワンダの観光や物産の紹介、現地で活動した青年海外協力隊員OBの報告会など交えて開催。開催場所は前回と同じ。

(3) .ルワンダの教育支援事業※定款第5条(1)の③

ア. ウムチョムイーザ学園の自立化促進と財政支援

学園の経営の自立化を促しながら、貧困のため授業料を払えない子どもの授業料支援・奨学金などの財政支援を行う。支援は学園側からの申請に基づき当会が必要と認めた範囲で行う。

イ. 子どもの健康診断事業

カリオペ医師と連携しながら以下の取り組みを行う(4年目)。

- ① 前年に続き学校の健康診断を継続する。またこれまでの健診で病気が見つかった子どものフォローを行う。
- ② キミロンコ地区の教育関係者を対象に、健康診断の重要性と性教育の必要性についての研修会を実施する。

ウ. ミヨベプロジェクト(ギチュンビ市ミヨベ町支援事業)について

支援項目については、①おかゆ・給食支援②絵本の配布③養鶏④意識改革ワークショップ⑤(A)洋裁技術訓練(B)刺繍技術訓練(C)陶芸技術訓練(D)石鹸作り技術訓練(F)ワセリン作り技術訓練。意識改革ワークショップの進捗状況を見てそれぞれの職業訓練を開始していく。(以下別記「活動内容・計画」参照)

おかゆ・食料支援は、続けて支援を行っており、絵本の配布は、5月注文中

の絵本到着を待ち、キニヤルワンドの絵本をそろえてから6月以降配布予定である。養鶏プロジェクトに関しては、もともと幼稚園を管理していた団体の採算可能性調査・試算を待つて不足部分のみの支援をする。

また、各職業訓練について、ミヨベのコミュニティーに関しては、歴史的背景を考慮してまず意識改革ワークショップを行う必要があるため、コンサルタントと相談しながら開始する。

#### エ.ルワンド・キミロンコ地区の教育支援事業

当会がルワンド政府から NGO 団体として認証されたことにより、行政から地域での教育支援活動を行うよう要請されている。キミロンコ地区の貧困児童の支援として地区内学校の給食費の助成を継続して行う。

#### (4) .ルワンドの生活や文化を紹介すると共に、ルワンドの人々の自立に支援に関する事業※定款第5条(1)の④

各種団体が主催するイベントに参加し、ルワンドの生活、文化を紹介する写真展開催や、民芸品、コーヒー紅茶などの販売を通してルワンドの人々の自立支援を行う。また講演会などでも会場においてミニ写真展の企画を主催者に提案する。

#### (5) .その他目的を達成するために必要な事業※定款第5条(1)の⑤

### 2、その他の事業 ※定款第5条(2)

#### (1) 参加型イベントに出展参加

ルワンドから取り寄せるコーヒー・紅茶、民芸品の販売とルワンドの生活・文化を紹介する活動を行う。安定的な会の収益源になるよう各種イベントに積極的に参加し販路拡大など販売強化に努めていく。

#### (2) 「小学校教員の算数指導力向上プロジェクト」/JICA 草の根技術協力事業

2016年スタートした校内研修は、これまでの研修成果をキミロンコ地区の小学校へ広めるため、学園の教員が6月に地区教員研修会を行い終了する。今後は参加した地区内小学校が校内研修をどのように実行していくか、その変化を把握する。また、これまでカウンターパートとしてこの事業に責任をもつ ADESOC が今後自力で継続できるようフォローする。

### 3.事務局関連

#### (1)事務局組織運営

事務局の常勤化により部外訪問者も増え、事務所としての存在感が高まりつつある。また各種プロジェクトを抱えて、日本側の本部としての役割が一層求められている。職員のスキルアップを行い事務局体制を強化しながら以下の活動を行う。

#### ア. ルワンド事務所との連携強化、スキルアップ

ミヨベプロジェクトの本格化により活動が増えてくるので、現地事務所と連携を強化しながら事業を進める。またルワンド事務所の財政基盤をしっかりとし

たものにするため、ルワンダでの資金調達についても検討していく。  
また現地スタッフのスキルアップを行い、現地裁量で仕事をすすめることができるようなシステムを導入する。(予算・執行・相談・報告)

イ. ボランティアスタッフとの連携強化

会員のみ活動には限度があるので、学生にもボランティア参加を呼びかけイベントなどは企画段階から参加していただく。また会の業務(ニュースレター発送など)にも積極的に協力してもらえる体制をつくる。

ウ. 財政基盤強化のために:

自動引落による定額寄付者のキャンペーンを行い拡大につとめる。(目標 100口)

エ. 組織体制強化のために:

新規会員及び支援者獲得のための広報活動強化

(2) 広報事業

ア. 通信の充実と通信の定期発行(年3回)

通信「ウムチョムイーザ通信」は2001年12月の第1号から始まり、次回は50号を迎える。ホームページやフェイスブックでも情報を発信しているが、紙媒体としての通信はネット環境にない会員へも情報を届けると共に、会の活動を記録に残す媒体として重要な役割を果たしてきた。今後も会員の声に耳を傾けながら通信の更なる充実に努めたい。

イ. ホームページ、SNSの充実

当会の情報を広く内外に広報するため、今後も情報を更新し積極的に発信していきたい。

## 第5号議案

### 役員を選任について

役員の改選について、以下の通り、理事・監事の候補を提案します。(敬称略)

平成 29 年度役員		
役職名	氏 名	住 所
理事長	永遠瑠 マリールイズ	福島・福島市
副理事長	倉持 睦子	埼玉・久喜市
副理事長	阿部 貞夫	福島・伊達市
理 事	本田 啓之	福島・福島市
理 事	斎藤 照子	福島・福島市
理 事	大槻 美智子	福島・福島市
理 事	穴戸 なつ美	福島・福島市
理 事	鈴木 恵子	福島・広野町
監 事	大和田 紋子	福島・郡山市

平成 30 年度役員 候補		
役職名	氏 名	住 所
理事長	永遠瑠 マリールイズ	福島・福島市
副理事長	倉持 睦子	埼玉・久喜市
副理事長	穴戸 なつ美	福島・福島市
理 事	大槻 美智子	福島・福島市
理 事	鈴木 恵子	福島・広野町
理 事	大寺 智子	福島・福島市 (新任)
理 事	佐野 孝治	福島・福島市 (新任)
理 事	望月 優子	ルワンダ・キガリ (新任)
監 事	大和田 紋子	福島・郡山市

# 第4号議案 平成30年度 特定非営利活動に係る事業予算 (案)

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

## I 収入の部

科 目		前年実績	特定非営利活動	その他事業 (国内)	委託事業 (JICA)	予算	備 考
1.会費収入	正会員	405,000	400,000			400,000	正会員65名
	賛助会員	740,000	800,000			800,000	賛助会員120名
2.事業収入	講演活動	1,878,529	1,500,000			1,500,000	講演会謝礼・交通費
	販売活動	1,784,157	1,700,000			1,700,000	コーヒー、紅茶、書籍、民芸品
3.委託事業	JICA草の根技術支援	3,312,841			2,490,000	2,490,000	小学校教員の算数指導力向上プロジェクト
	アマホロ共同事業	1,125,000	2,625,000			2,625,000	ミヨベP・NGO活動資金
4.助成金	助成金	86,657	0			0	
	特別キャンペーン	1,756,716	3,000,000			3,000,000	ミヨベプロジェクト用
	グラウンド整備	2,600,000				0	
5.寄付金等	寄付金	0				0	
	(寄付金)	5,504,931	5,000,000			5,500,000	
	(500円寄付)	651,000	700,000			700,000	
	(奨学基金寄付金)	112,360	100,000			100,000	
	(募金)	13,658	10,000			10,000	
	(指定寄付)	2,101,040				0	
6.その他	コンサート収入	240,345		150,000		150,000	入場料、協賛金収入
	受取利息収入	8	8			8	銀行利息
収入合計		22,312,242	15,835,008	150,000	2,490,000	18,975,008	

## II 支出の部

科 目		前年実績	特定非営利活動	その他事業 (国内)	委託事業 (JICA)	予算	備 考	
1.NGO事業費	ウムチヨムイーザ学園奨学金	1,898,066	3,000,000			3,000,000	学園運営費20万 x 15か月	
	〃 グラウンド整備	3,654,695				0		
	〃 健康診断P	372,766	400,000			400,000	学園、ミヨベ地区健康診断	
	〃 奨学金	0	80,000			80,000	AMDA管波様指定寄付	
	ミヨベプロジェクトI	0	1,756,716			1,756,716	前期ReadyFor資金から支出	
	ミヨベプロジェクトII	1,979,815	2,392,904			2,392,904	自己資金	
	ルワンダ教育支援費	573,240	874,800			874,800	ミヨベ地区学校の貧困児童への給食費補助	
2.NGO事業経費	現地活動費	3,789,080	4,911,369			4,911,369	NGO事務所 現地活動費、事務所経費	
3.委託事業費	JICA草の根技術協力	3,312,841			3,263,417	3,263,417	旅費、現地活動費等	
	自己資金	427,255			800,000	800,000	会場費、日当・手当関係	
4.国内事業費	商品仕入	766,062		760,000		760,000	コーヒー、紅茶、民芸品仕入れ	
	消耗品費	72,567		80,000		80,000	カップ、砂糖などの資材費	
	出展料	55,402		55,000		55,000	イベント出店料	
	国内支援事業	102,816						
	指定寄付 カリオベ奨学金	0		2,105,969		2,105,969	前期繰越2,105,969円	
	コンサート経費	569,802		120,000		120,000	出演料・会場費等・印刷費等	
	旅費交通費	1,208,608		1,100,000		1,100,000	講演活動旅費	
	通信運搬費	157,368		170,000		170,000	発送費	
5.管理費	給与手当	1,044,600	2,400,000			2,400,000	事務局員給与	
	法定福利費	10,088	24,000			24,000		
	ボランティアスタッフ手当	0	360,000			360,000		
	印刷製本費	59,628	60,000			60,000	コピー、パンフレット等	
	会議費	3,014	5,000			5,000		
	通信運搬費	297,983	280,000			280,000	発送費	
	消耗品費	178,240	150,000			150,000	事務用品	
	水道光熱費	97,054	100,000			100,000		
	地代家賃	625,500	625,500			625,500	家賃50500円+駐車5000円/月	
	接待交際費	26,535	30,000			30,000	慶弔費、土産代	
	諸会費	20,000	20,000			20,000	国際交流協会会費(福島県・福島市)	
	雑費	163,653	160,000			160,000	送金郵便振替手数料・税理士手数料	
	租税公課	72,000	72,000			72,000	法人県民税・市民税	
	合 計		21,538,678	17,702,289	4,390,969	4,063,417	26,156,675	

当期正味財産増減額	773,564	-1,867,281	-4,240,969	-1,573,417	-7,181,667
前期繰越正味財産額	8,029,218				8,802,782
次期繰越正味財産額	8,802,782				1,621,115